

令和 6 年度 環境経営レポート



(対象期間：令和 6 年 1 月 1 日～令和 6 年 12 月 31 日)

有限会社 コトブキ

発行日 令和 7 年 2 月 22 日

改定 令和 7 年 9 月 11 日



®環境省

エコアクション21
認証番号 0004798

目次

1. 事業所の概要	3 ページ
① 組織の概要、②対象範囲	
2. 環境経営方針	4 ページ
3. 環境経営目標とその実績	5 ページ
4. 主要な環境経営計画の内容	6 ページ
5. 環境経営計画の取組結果の評価	7 ページ
6. 次年度の取組内容	8 ページ
7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	9 ページ
8. 代表者による全体評価、見直しの結果	10 ページ

1. 事業所の概要

①組織の概要

1. 事業所及び代表者

有限会社 コトブキ

代表取締役 岸田 功

2. 所在地

有限会社 コトブキ

鳥取県鳥取市新品治町6番地

(代表) 電話 0857-28-8661 F A X 0857-28-8671

<関連事業所>

マツダオートザム鳥取中央

鳥取県鳥取市安長169番地8号

3. 環境管理システムの責任者

代 表 者

岸田 功 (代表取締役)

環 境 管 理 責 任 者

奥田 和彦 (サービス部長)

連 絡 先 担 当 者

中本 崇 (総務部長)

E-mail info@kotobuki-car.net

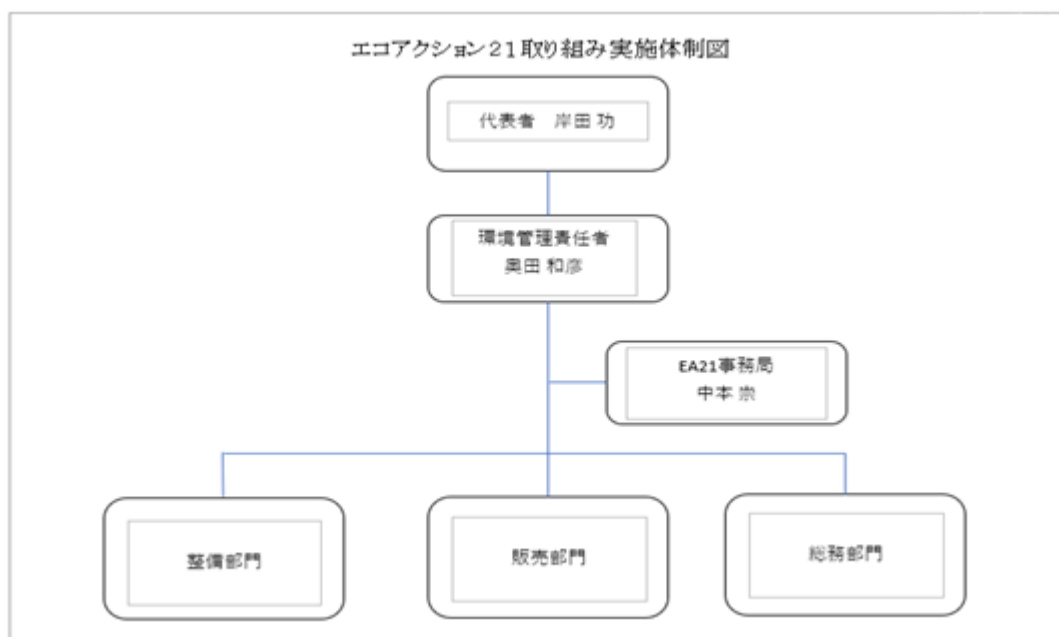
4. 事業内容

自動車販売・修理・保険代理業

5. 事業の規模

社員数 20名

{ 有限会社 コトブキ 3名
マツダオートザム鳥取中央 17名



環境経営方針

当社は、地球環境保護のため、以下の『環境経営方針』を定め、全社員をあげて環境負荷低減に配慮した活動を継続的に取組みます。

1. 業務の見直し

- ・業務の見直しを行い、無理、無駄の排除を行います。
- ・チームワーク強化により作業効率アップを図り、顧客満足の追求を目指します。
- ・エコカーの拡販に努め、新規顧客開拓による売上アップを目指します。
- ・コスト削減意識を強化し、高効率経営を全社員で徹底します。

2. 省資源・省エネルギー活動

- ・事業所内の整理・整頓・清掃・清潔に留意し、電力・紙・水等の資源・石油エネルギーの使用量の削減等環境負荷低減に努めます。

3. 廃棄物の削減・分別処理

- ・事業所から出る廃棄物の分別・回収処理を徹底し、廃棄物排出量の削減をします。

4. リサイクル活動による省資源化の推進

- ・省資源活動の一つとして、リサイクル品等の使用を推進します。
- ・事務用品等の購入は、エコ商品を推進し、グリーン購入に努めます。

5. 法の遵守と周知

- ・環境活動を推進するに当たり、化学物質の適切な取扱を含め関連する法律等の遵守及び社員への周知を徹底します。

お客様の安全・安心確立のため、全従業員で積極的に資格取得に挑戦し、技術力・知識力アップに努め、地域社会に貢献します。

令和3年10月21日
有限会社 コトブキ
代表取締役 岸田 功

3. 環境経営目標とその実績

(1) 現状の環境負荷の実績

表-1 に令和 6 年度の環境負荷の実績（総量）を示す

表-1 令和 6 年度の環境負荷の実績（総量）

環境経営目標	単位	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
CO2 排出量	t - CO2	73.5	74.5	75.4
廃棄物排出量	t	18.2	20.3	16.5
水使用量	m ³	1593	1689	1569

（中国購入電力 2023 年度調整後 CO2 排出係数 0.520kg-CO2/kwh を使用）

表-2 に令和 6 年度の環境負荷の実績を示す

表-2 令和 6 年度の環境負荷の実績（単位売上当り）

環境経営目標	単位	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
CO2 排出量	kg/単位売上当り	1545.7	1277.0	1945.2
廃棄物排出量	kg/単位売上当り	382.9	347.4	426.3
水使用量	m ³ /単位売上当り	33.4	28.9	40.4

(2) 環境経営目標（令和 6 年度以降）

環境負荷（CO2、廃棄物、水使用量）について、目標再設定の上、環境負荷削減に取り組む。

表-3 に令和 6 年度以降の環境経営目標を示す。

令和 5 年を基準に、CO2、廃棄物について毎年 1%ずつ削減する。

平成 29 年水使用量実績（37.4 m³/単位売上当り）を基準に毎年 2%ずつ削減する。

表-3 令和 6 年度以降の環境経営目標（単位売上当り）

環境経営目標	単位	基準値		目標値		
		年度・目標値		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
CO2 排出量	kg/単位売上当り	R5	1751	1733	1716	1698
廃棄物排出量	kg/単位売上当り	R5	480	475	470	465
水使用量	m ³ /単位売上当り	H29	37.4	32.3	31.7	30.9
化学物質の適正管理	-	有機溶剤（トルエン・キシレン・エチルベンゼン含有）の管理を厳重に行う				
エコ関連商品普及率の向上	%	-	-	70	70	70

4. 主要な環境活動計画の内容

環境経営目標を達成するための取組

- 1) 業務の見直しをする。
 - ① 新規開拓による売上アップの追求
 - ② 4S の徹底及び経費削減の徹底

- 2) 二酸化炭素排出量（省エネに関する取組）
 - ③ 走行ルートの見直しをする
 - ④ 空調温度の冷房は 28℃、暖房は 23℃を目処とする
 - ⑤ インバーター制御機能のある家電機器の導入をする
 - ⑥ 昼休み事務所の消灯（減灯）パソコンは極力待機電力とする
 - ⑦ アイドリングストップの徹底
 - ⑧ 安全運転、制限速度の遵守

- 3) 廃棄物排出量（リサイクルに関する取組）
 - ⑨ 分別・回収を徹底し、再利用・再生率を上げ、削減に努める
 - ⑩ コピー紙の両面利用の徹底
 - ⑪ 会議等の配布資料の削減

- 4) 水使用量（節水の取組）
 - ⑫ 水漏れ箇所の点検
 - ⑬ ストップバルブの設置

- 5) 化学物質使用量削減
 - ⑭ フロンガス等有害物質は取扱方法を留意し、大気への流失を防ぐ
 - ⑮ シンナー等塗料の取扱いは使用量を厳格に管理する

- 6) グリーン購入
 - ⑯ 再生事務用品及びエコマーク商品の購入

- 7) サービスに関する項目
 - ⑰ エコカーの拡販促進
 - ⑱ リサイクルパーツの積極的利用

(2) その他の取組

社員の環境への意識高揚のために定期的な研修会、会議の開催

5. 環境活動の取組結果の評価

(1) 環境経営目標と結果

表-4 に令和 6 年 1～12 月における取組結果を示す。

表-4 令和 6 年 1～12 月における取組結果 (単位売上当り)

		R4	R5	R6	R6 目標	達成率
CO2 排出量	kg/ (単位売上当り) (t-CO2)	1545.7 (73.5)	1277.0 (74.5)	1945.2 (75.4)	1733	89.1%
CO2 内訳	電気	738.0	646.6	1.019.2		
	灯油	136.6	57.7	154.1		
	ガス	1.2	0.8	1.5		
	ガソリン	611.9	489.9	658.9		
	軽油	58	82	111.5		
廃棄物排出量	kg/ (単位売上当り) (t)	382.9 (18.2)	347.4 (20.3)	426.3 (16.5)	475	111.4%
水使用量	m ³ / (単位売上当り) (m ³)	33.4 (1593)	28.9 (1689)	40.4 (1569)	32.3	80.0%
化学物質 (シンナー)	PRTR (NO) 300 トルエン・80 キロリン 53 エルベンゼン	使用量 管理	使用量 管理	使用量 管理	使用 量 管理	—
サービス関連	エコ関連商品普及率	-	-	-	70%	

(2) 評価

① CO2 排出量

・目標 1733kg—売上単位当りに対し実績は 1945.2kg—売上単位当りで環境経営目標達成率は 89.1%であった。新車販売不振による売上低迷もあり、業績アップ、一層のコスト削減に努めたい。

② 廃棄物排出量

・目標 475kg—売上単位当りに対し実績は 426.3kg—売上単位当りで環境経営目標達成率は 111.4%であった。今後も引き続き徹底に努めたい。

③ 水使用量

・目標 32.3 m³—売上単位当りに対し実績は 40.4 m³—売上単位当りで環境経営目標達成率は 80.0%であった。水使用量については、使用数量、使用金額とも前年を下回る結果となりました。今後は、目標達成に努めたい。

④ 化学物質使用量

・塗料用シンナー (トルエン・キシレン・エルベンゼン含有) の管理を徹底する。
特定化学物質(エルベンゼン 0.1%含有)の取扱について、法令遵守を徹底する。

⑤ 製品サービスに関する項目

・ハイブリッド車・エコカー販売、パック DE メンテ促進、及びエコオイル、エコタイヤ、リサイクル部品活用促進を継続的に行う。

6. 次年度の取組

- ・前年度の環境経営活動計画を引き続き推進する。
- ・環境経営活動の一貫として、前年比2%売上拡大、収益力アップを目指す。
- ・サービスに関する取組について普及率アップに努める。

7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

表—5 に環境関連法規への違反・訴訟等の有無を示す。

表—5 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

	能力・取扱量等 (設置場所)	関連法規等	届出基準等	届出要否 等
1) 設備				
コンプレッサー	7.5kW (新品治)	騒音規制法 条例	7.5kW 地域指定	対応済
	7.5kW (新品治)	振動規制法 条例	7.5kW 地域指定	対応済
自動洗車機	2.1 m ³ /日 (安長)	水質汚濁防止 法	50 m ³ /日	対応済
浄化槽	全て (安長)	浄化槽法	定期検査 1 年毎	対応済
2) 取扱物質				
・廃棄物	委託契約書	廃掃法	全て	対応済
	有価物:			該当せず
	マニフェスト	廃掃法	全て	対応済
・危険物	エンジンオイル ~400 l (安長)	消防法	少量危険物貯蔵取扱所 地域指定	対応済
	塗装用シンナー 144 l (新品治)	消防法	危険物屋内貯蔵所 地域指定 (~200 l)	対応済
・化学物質 (トルエン、キシ レン、エチルベ ンゼン)	塗装用シンナー 144 l (新品治)	PRTR	該当せずも、 使用量管理 (EA21)	対応済
・フロン	エアコン	フロン排出抑 制法	簡易点検 3 ヶ月毎	対応済

備考) 少量危険物は指定数量の 1/5 以下です。

環境関連法規への違反はありません。関係当局より違反等の指摘もありません。

8.代表者による全体評価、見直しの結果

- ・ CO2 の排出量の環境経営目標達成率 75.8%と目標と大きく開きあった。新車販売不振による売上低迷の影響があったものの、年間総排出量が前年実績を上回る厳しい状況であった。サービス売上については、前年微増の結果となっており、一層の既存客確保、新規顧客開拓に取組み、業績アップ、コスト削減に努めたい。
- ・ 廃棄物の排出量について、環境経営目標 111.4%と厳しい状況の中、目標達成出来た。今後とも排出量抑制、分別の徹底に努めたい。
- ・ 水使用量について、環境経営目標 80.0%と目標に対して未達成となった。今後は、使用数量、使用金額とも前年以下に努め、目標達成に努めたい。